「　一日研修旅行　」

◇ 研 修 旅 行 部

担当：村上　多津美

去る 10 月 23 日（金）特別史跡　恭仁宮跡（山城国分寺跡）・宮内庁管理 元正天皇 奈保山西陵・平城宮跡歴史公園（世界遺産「古都奈良の文化財」を構成する施設の一つ）を訪れ研修してきました。当初、20 名の催行人数を想定して参加費 1 万円としましたが、26 名の参加を頂きました。結果、わずかですが（千五百円）返金することが出来ました。

恭仁宮跡では「ふるさと案内かも」のガイドさんの詳しい説明を聞き、おまけに満開のコスモスを堪能し、明治 6 年開校の恭仁小学校から聞える運動会（24 日開催予定）の練習音楽を楽しみました。昼食は「ならやま」にある日本料理「花鹿」です。我々は「松花堂若草」を頂く前に近くに（三百m程北西）ある「元正天皇」の御陵（みささぎ）を参拝しました。

平城宮跡歴史公園はとても広く、「いざない館～朱雀門～大極門～第一次大極殿」の基本コース、基本コースの途中でやめ自由散策するコース、基本コースから推定宮内省・東院庭園を回る健脚コースの三つに分けて見学しました。

少しでも、千三百年程前の「天平時代」に想いを寄せて頂けたのなら幸いに存じます。
また、全行程 時間通りに運行出来ました。参加者の皆様・運転手さんに感謝いたします。



・あをによし 奈良の京（みやこ） は 咲く花の にほふがごとく 今盛りなり

（小野老 / おののおゆ・巻 3-328）

・みごもりの 泊(とまり)を騒み 奈良の京(みやこ) 目にこそ見えね
思ひて寝(ぬ)るらむ

（藤原宇合・巻 4-569）

〔万葉集より〕




























史跡筑仁宮跡 内裏地区












史跡 恭仁宮跡（山城国分寺跡）
郷土の文化財を大切に


くにのみや学習館のご案内




史跡山城国分寺跡
史跡山城国分寺跡


恭仁宮
くにのみや学習館

























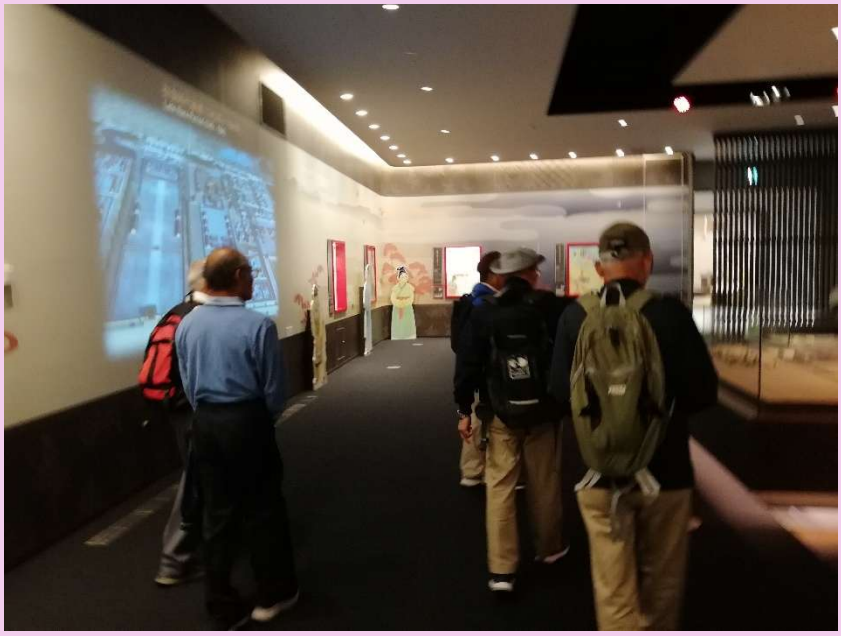














平城京～長岡京～平安京の天皇変遷



































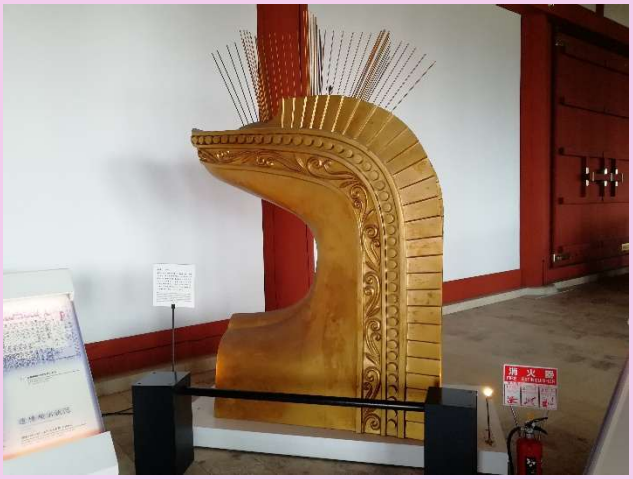






















二条大路と壬生門
二条大路は、幅約35mで朱雀大路につぐ規模をもち、平城宮南辺を東西に通る。平城宮の正門の朱雀門、南面東門の壬生門、南面西門の若犬養門は、この大路に面して開いていた。
奈良時代の後半になると、壬生門が朱雀門にかわって実質的には平城宮の正門として機能するようになる。
二条大路の南の地域は、宮域外の役所などとして利用され、平城宮に準じた重要な地域であることがわかってきた。
Second Street and the Mibu Gate
Second Street was a major thoroughfare running east-west along the southern side of the Nara Palace precinct. Around 35 meters in width, it was second only to Suzaku Avenue in size. The Suzaku Gate, built as the main gate of the Palace grounds, together with the Mibu Gate to its east and the Wakainukai Gate to its west, all opened onto this boulevard.
In the latter half of the Nara period,when the Great Hall of State and the Halls of State Compound that comprised the center of politics shifted to the eastern sector of the precinct, the Mibu Gate served in effect as the main gate to the Palace.
The area immediately to the south of Second Street is known to have been used for state offices and detached residences located outside the Palace grounds, and was thus a district rivaling the Palace itself in importance.